

登録コード	E4690900	開講年度	2026			
授業科目	英語科指導法基礎				担当教員	酒井 英樹
英文授業名	An Introduction to Teaching English				副担当	山本 大貴
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・5時限	対象学生
講義室	教育N 2 0 1 講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				中学校・高等学校における外国語科の基本理念、目標、学習内容、指導方法に関する理論や諸概念を理解し、具体的かつ実践的に考察できる教養を身に付けるようにする。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				中学校・高等学校における外国語科の基本理念、目標、学習内容、指導方法に関する理論や諸概念を理解し、外国語科（英語）学習指導案を構築できるようにする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	中学校・高等学校における外国語科の基本理念、目標、学習内容、指導方法に関する理論や諸概念を取り上げて、解説する。また、中学校英語検定教科書を基に、具体的かつ実践的に考察するために、外国語科（英語）学習指導案の構築する演習を行う。担当教員が中学校教員の実務経験を活かして講義を行います。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：コミュニケーション能力と外国語科の目標（小学校、中学校、高等学校の外国語科の目標） 第3回：学習指導要領（領域別の目標、英語の特徴やきまりに関する事項、言語活動）と語彙・表現・文法の指導 第4回：言語活動（聞くこと）と音声的な特徴の指導 第5回：言語活動（読むこと）と異文化理解に関する指導 第6回：言語活動（話すこと【やり取り】と話すこと【発表】）と技能統合の指導 第7回：言語活動（書くこと）と文字に関する指導 第8回：学習到達目標、年間指導計画、単元計画、学習指導案の作成方法 第9回：目標に準拠した評価（評価規準と判定基準） 第10回：授業観察と分析（1）、英語で行う授業（インプットとインタラクション） 第11回：授業観察と分析（2）、ALT等とのチームティーチング 第12回：模擬授業（1回目）、教科用図書、教材・教具、ICTの活用（デジタル教科書含む） 第13回：模擬授業（2回目）、第二言語習得と学習者要因 第14回：総まとめ・授業アンケート実施 定期試験 教育実習による欠席の補講については、授業記録の視聴及びレポートにより対応する。					
(6)成績評価の方法	・英語教育に関する知識に関する最終試験（30％）、英語教育に関する知識に関するテスト（30％）、学習指導案を書くことができることを評価するための指導案構築（10％×2）、授業力を評価するための模擬授業（10％×2） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。					
(7)成績評価の基準	「卓越している」：基本的な概念や理論を正確に説明でき、学習指導案を適切に構築している。また、高い英語力を示している。 「かなり上である」：基本的な概念や理論をほぼ正確に説明でき、学習指導案を適切に構築している。また、英語力の向上がみられる。 「やや上にある」：基本的な概念や理論を説明できるものがあり、学習指導案を構築している。英語学習の課題を、すべて行っている。 「水準にある」：基本的な概念や理論を説明できるものがあり、学習指導案を構築している。英語学習の課題をすべて行っている。					
(8)事前事後学習の内容	・教科書を読み、授業に臨むこと。 ・中学校学習指導要領を読み、テストを事前学習として受験すること。 ・この授業は 90 時間の学修を必要とする内容です。従って、60 時間以上の時間外学習が必要となります。					
(9)履修上の注意	・次の英語力をこの授業の単位の基礎資格とする。TOEIC（IPテスト含む）600点以上、TOEFL PBT 503点/CBT 177点/iBT 62点以上、IELTS 5.0以上、英検2級以上。第一回の受講日に、資格試験のスコアレポート・合格証を持参すること。 ・英語の教師として必要な英語力を高めるために、本授業の基礎資格の英語力を求める。また、英語学習の課題を課す。英語力小テストを実施する。 ・英語で授業を進めることがある。 ・教育実習Ⅰ（中等）を英語で行う学生は、2年次に履修すること。					

(10)質問，相談への対応及び連絡先	・ 随時、質問、相談に対応します (sakaih@shinshu-u.ac.jp)。
【教科書】	・ 文部科学省 (2017). 『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説・外国語編』 ・ 文部科学省 (2018). 『高等学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領解説・外国語編』 ・ 酒井英樹・廣森友人・吉田達弘編著 (2018). 『「学ぶ・教える・考える」ための実践的英語科教育法』大修館書店. 2,640円
【参考文献】	・ 随時授業中紹介する。